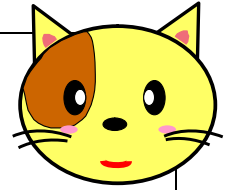


1 1 平行四辺形と三角形の面積

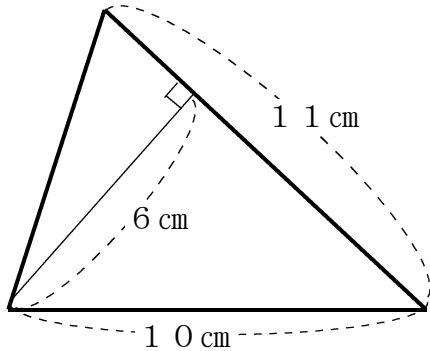
☆準備物：三角定規 じょうぎ



学年		組		氏名	
----	--	---	--	----	--

1 次の太い線の図形の面積を求める式と答えを書きましょう。

(1)

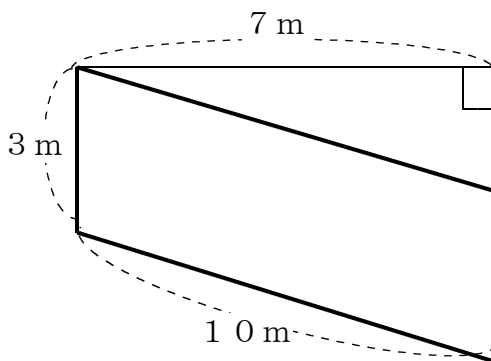


<式> $11 \times 6 \div 2 = 33$

(33 cm^2)

11 cmの辺を底辺として、高さ6 cmの三角形と見ることができます。

(2)

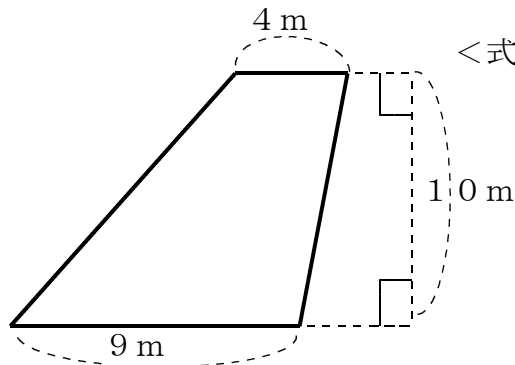


<式> $3 \times 7 = 21$

(21 m^2)

3 mの辺を底辺として、高さ7 mの平行四辺形と見ることができます。

(3)



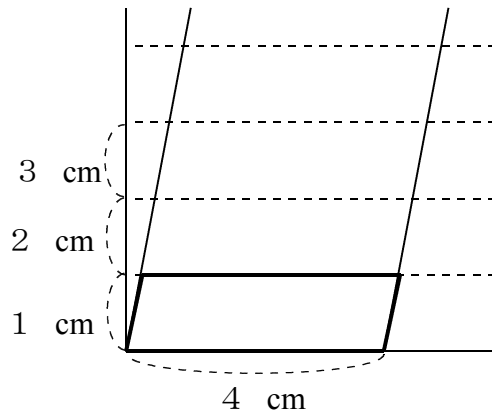
<式> $(4 + 9) \times 10 \div 2 = 65$

(65 m^2)

上底4 m, 下底9 m, 高さ10 mの台形です。

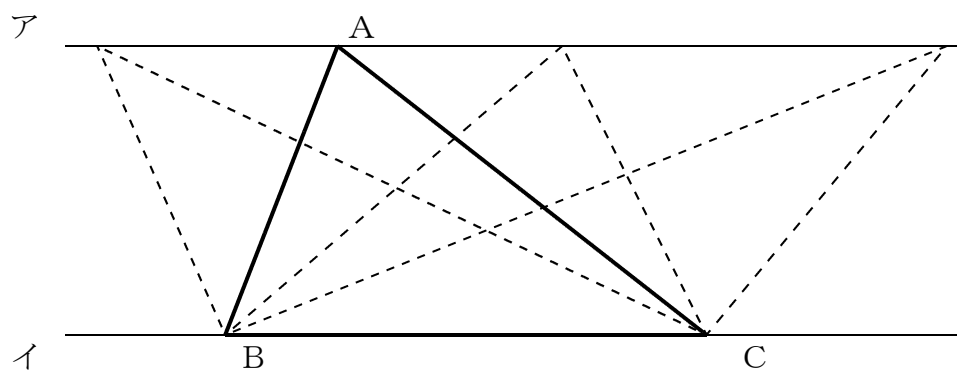
- 2 下の図のような底辺が4 cm、高さが1 cmの平行四辺形があります。底辺を変えずに、高さを6倍にすると面積は何倍になるでしょう。

(6 倍)



底辺が4 cm、高さが1 cmの平行四辺形の面積は4 cm²、高さが2 cmだと面積は8 cm²、高さが3 cmだと12 cm²となります。高さが2倍、3倍になると面積も2倍、3倍となります。

- 3 下の図のアとイの直線は平行です。ちょう点Aがアの直線の上のどこにあっても、三角形ABCの面積は等しくなります。そのわけを書きましょう。



<わけ>

三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができる。

ちょう点Aが変わっても直線アとイは平行なので高さは変わらない。

底辺はそのままなので、底辺の長さは変わらない。だから、三角形ABCの面積はいつも等しくなる。